

医学研究センター

研究評価部門

部 門 長：赤塚 俊隆

副部門長：椎橋 美智男，伊崎 誠一

部 門 員：伴場 裕己，山田 栄一

国際医療センターが開設してから3年目，そして保健医療学部でも研究業績データベースをご利用いただくようになって2年目を迎え，ようやく大学の組織と，このデータベースの登録・運用が落ち着いてきたように感じます。

最近の研究評価部門の活動を挙げますと，①人事考課における研究評価基準が，研究センター内で議論され確立されたので，それを取り入れて人事考課表を修正した，②学内HPに「業績プロQ&A」を載せた，③保健医療学部で3回目の説明会を開催した，などが挙げられます。

臨床系の若い研究者などの間ではまだ「業績プロ」へのデータ登録が浸透していないという現状から，H20年度の人事考課に限っては，「業績プロ」から活動評価表をダウンロードするのではなく，教室独自の書式で整理したデータを添付してそれに替えることができるとされました。しかし前年度に比べて活動評価表が添付されている割合が増加しており，教員による「業績プロ」の認知度が高まっているように思われます。また「業績プロ」から科学技術振興機構（JST）ReaD事務局へデータ移行を行う作業も，今回で3回目となりますが，その対象者数も，1回目276名，2回目673名，そして3回目711名と，順調に数が増えています。ReaDのシステムもリニューアルされ，「業績プロ」から移行した研究者情報が利用される機会が増えてきたことも，本学の「業績プロ」の認知度の増加の一因となっているように思われます。

今後の課題として，「業績プロ」の改良の他，他大学での業績データベースの運用と研究評価法なども参考に，改善を検討していきたいと考えています。

（文責 赤塚）